

平成 28 年 7 月 25 日

各 位

株 式 会 社 グ リ ー ン ペ プ タ イ ド
代 表 取 締 役 社 長 永 井 健 一
(4 5 9 4 東 証 マ ー ズ)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 酒 井 輝 彦
T E L : 0 3 - 5 8 4 0 - 7 6 9 7

免疫測定法開発の受託に関するお知らせ

株式会社グリーンペプチド（代表取締役：永井 健一、以下「当社」）は、 Bristol-Myers Squibb 株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：ダビデ・ピラス）より、同社が製造販売する関節リウマチ治療薬「オレンシア®」（一般名：アバタセプト（遺伝子組換え））の効果に関連する研究に用いる免疫測定法の開発および測定実施業務を受託することについて合意し、受託契約を締結しましたので、ここにお知らせいたします。

■ 受託の背景

これまで当社は、がん治療薬候補として当社が開発中のがんペプチドワクチンの臨床上的有用性等を示すために、Luminex® 100/200™ System を用いた免疫測定技術を付随的に開発してまいりました。この度当社が開発を受託した免疫測定法は、関節リウマチ治療薬の研究のために用いるものでありますが、がん免疫治療薬開発において培った技術を応用するものであります。 Bristol-Myers Squibb 株式会社から、その開発技術と経験ならびに実施体制において評価を受け、今回の契約に至りました。

当社は今後も、独自開発の技術を用い、医薬品の開発に邁進してまいります。

■ 業績に与える影響

これまでも薬剤・抗体に関する測定方法の構築及び検査・測定に関する受託業務を他企業等から受けており、売上高の数%を計上しておりました。本契約の締結に伴って発生する売上も、平成 29 年 3 月期の売上高に対して数%程度であり、業績への影響は軽微であります。

本契約はライセンス・アウト等に関係するものではありません。

当社の既存パイプラインの進捗に影響を与えるものではありません。

以上

(※) Luminex® 100/200™ System

米 Luminex Corporation (以下、「Luminex 社」) が開発した、フローサイトメトリーを原理として、多種類のマイクロビーズを用いて同時に多項目を少量のサンプルで測定が行える測定システムです。当社は Luminex 社からライセンス供与を受けています。

(※) オレンシアについて

オレンシアは、プリストル・マイヤーズ スクイブ社が開発したヒト細胞傷害性 T リンパ球抗原-4 (CTLA-4) の細胞外ドメインとヒト IgG1 の Fc ドメインより構成された遺伝子組み換え可溶性融合タンパク質です。抗原提示細胞表面の CD80 および CD86 に特異的に結合することで、T 細胞の活性化を抑制し、関節リウマチの症候及び症状、身体機能、健康関連の生活の質の改善作用を発揮する生物学的製剤です。関節リウマチ治療薬として 2005 年 12 月に米国で初めて承認されて以降、現在、世界 50 カ国以上で販売されています。日本では 2010 年 7 月に点滴静注用製剤として製造販売承認を取得し、2013 年 6 月には皮下注シリンジ製剤、2016 年 2 月には皮下注オートインジェクター製剤として承認されています。

株式会社グリーンペプチドについて

当社は、人が体の中に備え持つ免疫の力を利用してがんを殺傷する「がん免疫治療薬」の研究開発を行う創薬ベンチャーです。がん免疫治療は、手術、放射線療法、化学療法に次ぐ、がんの「第 4 の治療法」となることが期待されています。

当社は、革新的ながん治療薬の創出を目指し、がん免疫治療薬の開発を進めています。